

説教

聖日礼拝 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2017年5月7日（日）

主 題：「もっと良いことのために生きる」  
—前進することの喜び—

テキスト：ヘブル人への手紙6章9－12節

**はじめに**

- ・前回、私たちは神の深い愛がどこにあるについて学びました。  
著者は、ユダヤ人クリスチャンが「5つの神の祝福」にあずかったにもかかわらず、その教えに背を向けて歩むべきではないと、厳しい「警告の言葉」を發しました。
- ・6:6 **しかも墮落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。**  
ある方はこの箇所を読んで、悔い改めが不可能な罪があるかのように考え、苦しむことがあります。神を知っている者が墮落するならば、もう再び立ち返ることはできない、と考えます。
- ・しかし私は、この厳しい論調は著者の意図ではないと思います。著者はユダヤ人クリスチャンへ、厳しい論調で「警告」を發しました。それは神の愛から離れることがないためです。このような聖書箇所は、一か所を取り上げるのではなく、文脈的解釈が必要です。⇒ 聖書全体の視点から見れば、神は人を滅ぼすお方ではなく、赦しの神であることは明白であります。
- ・神は愛です。ある人は取り返しのつかない罪を犯してしまい、もう駄目だ、と思っているかもしれません。そしてその罪のために苦しんでいます。神は恐怖の神でもありません。赦しの神、愛の神です。
- ・聖書は次のように述べています。  
**「もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」 Iヨハネ1：9**
- ・私たちは神の前に自分の罪を告白するならば、御子イエスの十字架の御血によって清めていただけます。罪を真に告白するだけで、神は無量大の愛で赦し、私たちを包んでくださいます。ですから大丈夫です。なんという恵みではありませんか。
- ・著者は今日のテキストで、さらに論調を進めています。それは「もっと良いことのために生きる」人生についてです。 2点。

**大切なポイント****1. 愛する人たちへの確信**

- ・6:9 **だが、愛する人たち。私たちはこのように言いますが、あなたがたについては、もっと良いことを確信しています。それは救いにつながることです。**
- ・著者は「あなたがたについては、もっと良いことを確信しています。」と言いました。この言葉から、私たちは前回の学び（6：4～6）に出てきた「警告の言葉」が、単なるおどかしではないことが分かります。イエスへの信仰から離れていったユダヤ人クリスチャンが、自己吟味するようにと「警告の言葉」を發したのです。それはより深い

信仰へ導くものであったことが分ります。⇒ 信仰の成長

- ・神は(前回も申したように)、「コーチ・ノート」を持ちです。3年半先のゴールを書いたノートではありません。私たちの人生ゴールまで書いた「コーチ・ノート」であります。なんとという幸いなコーチ(神)ではありませんか。
- ・「もっと良いこと」とは、この書簡の読者の上に神の救い(祝福)が完成するであろうということです。信じた者は確実に救われています。それゆえ、救われているという事実にあふさわしく行動し、聖徒たちに仕えるようにというのが、「勧告の言葉」の内容です。神は赦しの神、救いの神、そして愛の神です。

{例話} ある不健康な教会のこと

- ・私は次のような話を聞いたことがあります。  
ある日本の教会で、牧師が絶対的な権威を持っていて、神からの語りかけはその牧師を通して与えられるとされていました。その教会ではヘブル人への手紙6章4～6節が、たびたび語られていました。そして信じて救われた人でも、重大な罪を犯すならば地獄へ落ちてしまうと教えられていました。「その重大な罪」がなんであるかは、その時の説教者の気分で変わっていたようです。
- ・皆さん! そのようなメッセージを聞かされていた信者たちは、恐怖心で縛られるようになりました。中には、罪を犯した人が二度と救われないとするならば、自分は地獄へ行くかも知れないと、絶望感を持つ人も現れました。恐怖心を与えることが、その指導者の信徒管理の手段となっていました。
- ・覚えてください! 恐怖心によって教会を管理しようとする体質は、聖書の神のイメージからはほど遠いものです。それは神の愛から離れています。聖書の神は、ひとり子を与えるほどに私たちを愛して下さったお方です。神は恵みに富んだお方、悔い改めた罪人を受け入れてくださるお方です。

- ・私の友人のある米国人宣教師が、次のような興味深いことを言いました。世界中の宗教における神観を3つの英単語によって、分類することができる。

① Permissive (パーマシヴ) ⇒ 何でも許可する

- ・これは、「よし、よし」と甘やかす神を指す。この単語の名詞形が permission(許可)。親が permissive だと、子どもがギャー、ギャー泣いても注意せず、子どもの望み通りの行動を取るか、物を与えてしまう。神をそのように見ている人がいる。願い事を持っている人が中心になり、神はその願いをかなえるために存在する、と考える神観である。日本の「ご利益信仰」は、どちらかと言えば、神に対するイメージは permissive。
- ・この大学にはいるためには、どこの神社で拝めばよい……。  
子どもを授かるためには、お守りを買ってあげればよい。  
あくまでも人間が中心で、人間が幸福を感じるように要求を満たしてくれる神である。⇒ 分りやすく言うと、「自動販売的な神」である。

② Vindictive (ヴィンディクテイヴ) ⇒ 執念深い

- ・次に Vindictive とは、これはすぐに怒ったり、早く裁いたり、何かを根にもったり、仕返しのチャンスを狙ったりする神である。イスラム教の神はまさに Vindictive な神である。エホバの証人の神観も、Vindictive の傾向が強いと言える。
- ・寛大に赦し、だらしのない人をそのまま受け入れる神ではなく、ちょっとでも道から外れる者を、すぐに裁く神である。

- ここで大切なことは、permissive な神観を持って、vindictive な神観を持って、聖書の神との正しい関係は持てないことです。聖書全体をな流れる神観を表す語として、redemptive が使われる。

### ③ Redemptive (リデンプテイヴ) ⇒ 贖いをする

- 名詞形は redemption である。通常贖いをすると言訳されるが、元々「買い戻す」という意味である。あるいは「代価を払って、悪い状況を良い方に造り変える」と表現できる。
  - 聖書の神は正しく redemptive な神である。人間の要望を受け入れたり、人間の願いにご自分の働きを合わせたりする permissive な神ではない。また過ちを犯した者をすぐに罰し、見捨てる redemptive な神でもない。
  - そうではなく人間の罪のために起きた悲惨な状況に自ら介入され、それを祝福へ変えてくださる神である。聖書にはそのストーリーが多々ある。たとえばヨセフストーリーだ (創世記 42 章～45 章) 聖書の神は、贖いの神、恵みの神、愛の神である。
- ですから、パウロは次のように言いました。 **2 コリント 6 : 1**  
**6:1 私たちは神とともに働く者として、あなたがたに懇願します。神の恵みをむだに受けられないようにしてください。**  
 そうです。神に罪赦され、迎えられることは神の恵みなのです。

## 2. 恵み深い神を知りなさい

- ここで私たちが信じる神が、どんなに恵み深いお方であることを思い起こしましょう。

### 1) 救いは恵みによる

- 聖書はエペソ人への手紙で次のように述べています。  
**2:8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。**  
**2:9 行ないによるものではありません。だれも誇るためのないためです。**
- 人はイエスに対する信仰によって、恵みによって救われます。それ以外に救われる道はありません。 **使徒の働き**  
**4:12 この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。」**

- 聖書が教える「恵み」 (charis : カリス) ⇒ 神の本性のひとつ

神の「恵み」には、いろいろな要素があります。例えば、

- ① 一方通行である (富者 → 貧者) 逆はない
- ② お返し不要である (お返しは不可能) 無料で受ける
- ③ 行為によるのではなく平等に与えられる (誰にも等しく与えられる)

### 2) 神は忘れない

- 6:10 神は正しい方であって、あなたがたの行ないを忘れず、あなたがたがこれまで聖徒たちに仕え、また今も仕えて神の御名のために示したあの愛をお忘れにならないのです。**
- 神は、私たちが神の御名によって行うどのような小さな奉仕も、決してお忘れになりません。 私たちは、神の裁きの警告に耳を傾けることは大切です。しかしもう一方で

は、より大きな関心を、希望と慰めに満ちた神の約束に対して向けるべきです。つまり緊張感をもって、この二つをしっかりと保持することです。

- ・ 私たちは恵みにどっぷりつかってしまうと、恵みに鈍感となってしまいます。そういう私がそうです。恵みが恵みと感じなくなるのです。

{人間の弱さ}

そうではなく、神の前に生きる聖徒となってください。マタイ福音書

25:35 あなたがたは、わたしが空腹であったとき、わたしに食べる物を与え、わたしが渴いていたとき、わたしに飲ませ、わたしが旅人であったとき、わたしに宿を貸し、

25:36 わたしが裸のとき、わたしに着る物を与え、わたしが病気をしたとき、わたしを見舞い、わたしが牢にいたとき、わたしをたずねてくれたからです。』

25:40 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』

- ・ 神は日々知らずして行った愛の奉仕 {行為} を、忘れられません。著者は、ユダヤ人クリスチャンたちが神に示した愛の奉仕 (行為) を、神は決してお忘れにならない、と言いました。
- ・ 6:10 神は正しい方であって、あなたがたの行ないを忘れず、あなたがこれまで聖徒たちに仕え、また今も仕えて神の御名のために示したあの愛をお忘れにならないのです。

### 3) 神の約束は必ず成就

6:11 そこで、私たちは、あなたがたひとりひとりが、同じ熱心さを示して、最後まで、私たちの希望について十分な確信を持ち続けてくれるように切望します。

6:12 それは、あなたがたがなまけずに、信仰と忍耐によって約束のものを相続するあの人たちに、ならう者となるためです。

- ・ 神の約束は、信仰と忍耐をもってそれを待ち望む者には、必ず成就します。聖書には、信仰と忍耐によって約束のものを相続した信仰者の例がたくさん出てきます。その代表が父祖アブラハムです。あなたは、神の裁きのメッセージに恐れを感じてはいませんでしたか。もし神の恵みに対する感謝以上に、神への恐れを抱いているとするならば、それは正常ではありません
- ・ 健全な恐れを抱くとは良いことです。しかしそれ以上に、恵みによって救われていることを喜ぶべきです。そして神は、信仰と忍耐を持って神に従う者を祝福してくださるお方であることを思い出すべきです。私たちはアブラハムのように、約束のものを手に入れる人生を歩ませていただきましょう。

{例 話} 回心したムスリムの言葉:「裁きの神」と「愛の神」

- ・ 混迷のシリアや中央アジアからヨーロッパへ脱出した難民は、すでに300万人を超えています。ドイツだけで昨年は約115万人、トルコには約200万人に難民が入ってきています。衣類だけで何も持って出ることができなかった人々に、ドイツの多くのクリスチャンたちが愛の手を差し伸べています。
- ・ 彼らに衣類や食物、生活必需品を与えています。言葉も教えています。まったく見ず知らずの人たちから、このような支援を受けている難民の多くは驚いています。いったいなぜ、私たちにこのような支援をしてくれるのだろうか。クリスチャンたちは、彼らに神の愛を示しています。
- ・ 支援を受けていた、あるイスラム教徒のシリア難民が言いました。「イスラム教では、

神は怖い神でした。戒めを守らなければ、裁かれます。赦してくれない神でした。しかしキリスト教は、愛の神であることを知りました。」

- ・みなさん！ 難民の多くが愛の神にふれています。そして続々と、イエス・キリストを信じて洗礼を受け、回心に導かれています。なんとという幸いではありませんか。赦しの神、愛の神、⇒それが天地万物を造られた真の神です。

- ・ですから、著者はユダヤ人クリスチャンに、信仰と愛を持って生きることが勧めました。そして主に忠実にお従いした、先輩クリスチャンにならう者となることを勧めました。

6:12 それは、あなたがたがなまけずに、信仰と忍耐によって約束のものを相続するあの人たちに、ならう者となるためです。

- ・神はどんなお方でしょうか。

6:10 神は正しい方であって、あなたがたの行ないを忘れず、あなたがたがこれまで聖徒たちに仕え、また今も仕えて神の御名のために示したあの愛をお忘れにならないのです。

- ・これが著者のユダヤ人クリスチャンへの勧めでした。神はあなたが行った愛の奉仕(行為)を忘れることはありません。どんな小さな奉仕であっても、それは「わたしにしたのです。」と言われます。
- ・いかがでしょうか……。私たちは主である神の前に生きる者です。皆さん。どうぞ誤解しないでください。報いを得るための奉仕ではありません。キリストの愛に応答する奉仕なのです。それは自然であり、負担はないはずです。

## ま と め

主 題：「もっと良いことのために生きる」  
一前進することの喜び一

- ・私たちの神は裁きの神、恐ろしい神ではありません。恵みの神です。私たちは常に神の恵みを意識し、神は恵み深いお方であることを思い起こすことは大切です。それは日々のデイボーションを通して、覚えることができます。
- ・今日は次の大切な3点を覚えましょう。
  1. 神の救いは「恵み」である
  2. 神は愛の「奉仕」を忘れない
  3. 神の約束は必ず「成就」する

\* God bless you !